

歯科材料(07) 歯科用ワックス
一般医療機器 歯科用パターン成形品 31836030

ボナアダプター箔

【形状・構造及び原理等】

本品は、下記より構成される。



構成品	厚さ(mm)	直径(mm)
ボナアダプター箔	0.6	42
ボナアダプター箔	0.1	42

原理：0.6mmと0.1mmのボナアダプター箔を重ね、適切な温度で加熱し軟化させる。軟化したボナアダプター箔に支台歯を圧接する。

成分：0.6mmポリプロピレン
0.1mmポリビニルクロライド

【使用目的又は効果】

歯冠等の製作に用いる既製パターンである。
加熱軟化させたボナアダプター箔に支台歯を圧接し、余剰分を除去し、適切なセメントスペースを確保し、ワックスで形成したクラウン・ブリッジを支台歯から着脱する際にワックス形成したクラウン・ブリッジが変形するのを防ぐ。

【使用方法等】

- (1) 支台歯のアンダーカットの修正を行い、マージン部を鉛筆で記す。
- (2) 付属のコーピングクリップに0.1mmと0.6mmのボナアダプター箔を各一枚ずつ挟む。
- (3) 0.6mm側を火焰に向け適切な距離を保ち、クリップをくるくる回しボナアダプター箔が透明になるまで均一に温まるようにする。
- (4) シートが透明状態で張った状態になった時、0.6mmのアダプター箔をシリコンコンパウンド側に置き、手早く支台歯をマージン部まで一気に押し込む。
- (5) 押し込んだボナアダプター箔と支台歯をシリコンコンパウンドから取り外す。
内側のボナアダプター箔(0.1mm)を取り外し、マージン部から3～4mm±の箇所をハサミでカットする。
- (6) 外側のボナアダプター箔(0.6mm)はマージン部より約1～2mm程度上の箇所をハサミでカットする。
- (7) 支台歯に内側のボナアダプター箔をかぶせ、その上に外側のボナアダプター箔を被せる。
- (8) マージン部にボナサービカルワックスを一層ワックスアップする。
- (9) ボナクラウンワックスでクラウンのワックスアップが終了したら、内面の0.1mmのボナアダプター箔を取り外し、スプーリング、埋没、鋳造をする。

【使用方法に関連する使用上の注意】

ボナアダプター箔が溶け燃えるのを防ぐため、ボナアダプター箔加熱時に火焰に近づけすぎないこと。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ・本品は、高温、直射日光を避けて、火気厳禁の室温で保管すること。
- ・保管場所には、消火器を備えること。

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売者 エーピーエス株式会社
製造業者 Interdent d.o.o.
国名 スロベニア